

は し が き

教育の問題が、とみに揺れ動いています。大きくは、教育制度そのものが、身近には生徒ひとりひとりの観点が、あらためて問われています。

しかし、いつでも、どこでも、教育の出発点は授業であること、そして生徒達のすべての瞳が授業の中で輝いていてこそ、その学習が本物であることには変わりありません。

教室の中の、どんな生徒も見落してはならない。そのための教科内容の設定、指導技術や方法の探究等々、私どもの研究はいつまでも続きます。

ここに、昭和59年度研究紀要第29号としてその実験的研究の一部をまとめました。

諸先生方のご批判ご叱正を賜わり、次年度への貴重なる指針とさせていただきます。

昭和59年6月1日

学校長 森 田 茂 男